

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月6日

滋賀県知事 殿

提出者

住 所 大阪府大阪市西区靱本町1丁目11番7号

氏 名 株式会社熊谷組 関西支店

執行役員支店長 五十嵐 智彦

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6225-2256

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社熊谷組 関西支店
事業場の所在地	市内 工事現場
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	売上高 628億円（2024年度）
③従業員数	332名 2025年4月現在
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別添2 管理体制図のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<b>【前年度（令和6年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・コンクリート二次製品の使用（がれき類） ・実寸発注の実施（木くず）		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え、下記の取組を実施予定 ・梱包材の簡素化（廃プラスチック類、木くず）		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類（コンクリート塊、アスファルト塊）、木くずは分別すると共に、石綿含有産業廃棄物についても、他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・その他の品目についても、出来る限り分別を実施。

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	<b>【前年度（令和6年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	<b>【前年度（令和6年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

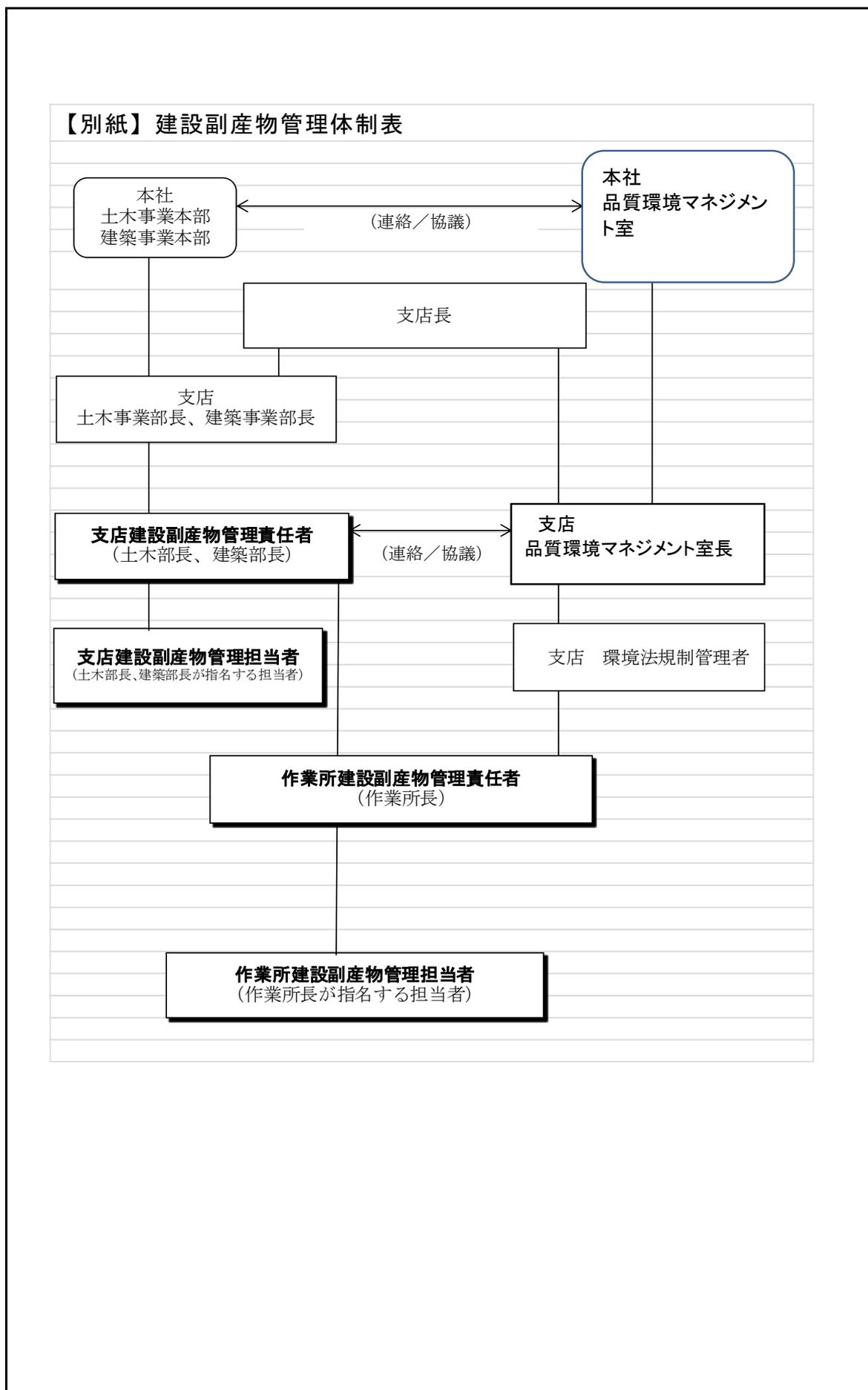
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物処理を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。 ・再生利用が可能である廃棄物については再生利用業者へ処理委託する。		

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・電子マニフェスト対応可能な処理業者から選定する。 ・電子契約の導入を進めるため、電子契約対応可能な処理業者から選定する。			
※事務処理欄			

## 別添1 処理工程図

- ・がれき類（コンクリート塊）→再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化
- ・木くず→再生処理業者に委託して、チップ（合材用、燃料用）として再資源化
- ・その他の品目→中間処理業者に委託

## 別添2 管理体制図



産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状:前年度(令和6年度)実績量  
 計画:今年度(令和7年度)計画量(目標)

単位:トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量		処理の委託									
	排出量				自ら熱回収を行った(行う)量		自ら中間処理により減量した(する)量				全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	1,245.30	1,120.77	-	-	-	-	-	-	-	-	1,245.30	1,120.77	0.00	0.00	1,245.30	1,120.77	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	131.18	118.06	-	-	-	-	-	-	-	-	131.18	118.06	1.93	1.74	131.18	118.06	0.00	0.00	0.00	0.00
コンクリート片	704.70	634.23	-	-	-	-	-	-	-	-	704.70	634.23	0.00	0.00	704.70	634.23	0.00	0.00	0.00	0.00
アス・コン片	123.50	111.15	-	-	-	-	-	-	-	-	123.50	111.15	0.00	0.00	123.50	111.15	0.00	0.00	0.00	0.00
その他がれき類	359.86	323.87	-	-	-	-	-	-	-	-	359.86	323.87	0.00	0.00	359.86	323.87	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物(管理型)	15.73	14.16	-	-	-	-	-	-	-	-	15.73	14.16	13.91	12.52	15.73	14.16	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	2,580.27	2,322.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,580.27	2,322.24	15.84	14.26	2,580.27	2,322.24	0.00	0.00	0.00	0.00